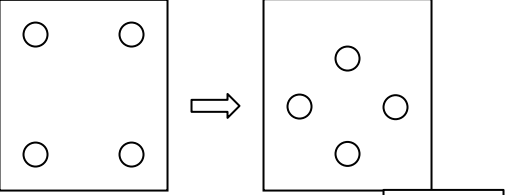
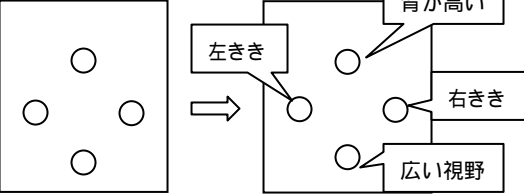
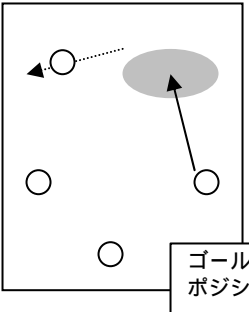
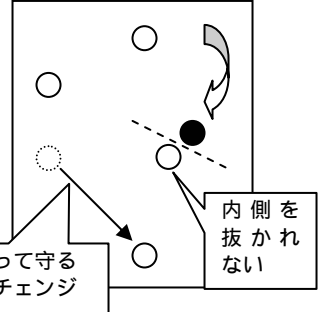


3 指導計画（全15時間 本時は / 15時間目）

学習活動	学習内容	評価と支援（ 評価規準 支援）		
<p>1 オリエンテーション 2時間 試しのゲーム</p>	<p>15時間の学習計画と学習の進め方を知る ・6チーム（3コート） ・クォーター制 ・4人出場 ・シュートはすべて2点 ・セルフジャッジ制 ・トラベリング、ダブルドリブルの徹底 ・身体接触の禁止 ・5秒以内に次のプレー 等 試しのゲームを行いルールの徹底や見直しをする。</p>	<p><b>学ぶ態度</b> 試しのゲームでのよかった点や困った点を明らかにし、目標とする思考判断や技能のイメージを具体的にもととしていく。 ゲームでの感想を観点別に整理し、目標を具体的にもつようにする。</p>	<p><b>思考・判断</b> はじめのルールを理解してプレーしている。ボールを保持しているときの判断や、保持していないときの動きの補助となるような支援をする。</p>	<p><b>技能</b> ドリブルやパスでボールを前に進めることができる。 ドリブル・パス・シュートに関する現状を把握し、練習メニュー作成の資料とする。</p>
<p>2 目標設定セッション 1時間 学習目標と評価規準を設定</p>	<p>試しのゲームから、目標とするプレーや動きなどを具体的に記述しておく。 上の記述を指導者が示すとともに、各自の学習目標と評価規準を設定する。</p>			
<p>3 自分のチームの特徴に合った作戦作り 5時間 6チームによるリーグ戦。</p>	<p><b>学習課題</b> 子どもの意識と身体と対話する力の現われ</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>1 システムの工夫（布陣） システムとは、コートにどのようにプレーヤーを配置するかということ。この段階では、いろいろなシステムを、自分たちのメンバーの特徴をつかむことが大切。ひし形のシステムがよいと考えられる。</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>2 ポジションの工夫（適材適所） メンバーの特徴やポジションの役割から、決めたシステムのどこを誰が担当するかということ。そのポジションでどんなプレーをするか（動きづくり）も課題となってくる。</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>	<p>チームのメンバーの特徴から作戦を立て、ゲームで出てきた課題を解決しようとしている。 うまくいかなかったところにこそ、解決すべき課題があること意識させ、失敗から作戦の充実へとつながるようにする。 一人が失敗しても、その子だけの問題としてとらえずに、どうして失敗が起きたのかをチームの問題として考えるようにする。</p>	<p>チームのメンバーの特徴を考えて作戦を立て、プレーする姿が見られる。誰がどのポジションにつけばチームにとってよい状態になるのかを考えるようにはたらきかける。 問題となる場面をとりあげどうすればよかったのかを印象づけ、解決に向けて働きかけるようにする。 ゲームの状況に応じて、どのような場所にいるべきかの判断を補助するような言葉かけをする。</p>	<p>作戦に通りに動き、パスやドリブル、シュートができる。また作戦通りに動いてパスやドリブル、シュートを防ぐことができる。 基本的な技能を高めるための練習メニューを作成し、時間の初めに継続して行う。</p>
<p>3 中間評価セッション 1時間 評価規準の見直し。 達成状況を知り目標をもつ</p>	<p>これまでの学習から判断基準を表す実際のプレーや発言、思考や理解の発言の内容を出し合う。 現在の自分（たち）の達成状況を知り、次にめざす判断（思考・判断）や動き（技能）をはっきりもつことができるようにする。</p>	<p>目標と自分の現状を照らし合わせ、具体的な目標をもち、今後の学習に取り組もうとしている。 映像等の資料を用意する。</p>		
<p>4 作戦にあわせた動きづくり 5時間 リーグ戦の順位に基づく対抗戦 本時</p>	<p><b>3 動きの工夫</b> 作戦通りに動きつつそのポジションで動きの質を高めていく。状況に応じた判断と技能の発揮が必要になる。 トップが左右に流れ、空いたスペースに、ミドルが走りこんでシュート。シュート失敗時から攻められるときワンサイドカットで時間をかせぎ、その間に守備にもどり、相手チームにスペースを与えない。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>ゴールに戻って守る ポジションチェンジ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>内側を 抜かれない</p> </div> </div>	<p>作戦通りにやってもううまくいかない問題をチームで問題を共有し解決に向けて取り組もうとしている。 作戦通りにいかない状況を解決するためには、チーム内でのアドバイスの交流が大切なことを意識させ、チームの成功を一人一人が実感できるようにする。</p>	<p>作戦がわかり、ゲームの状況に応じて動きを工夫している。 声や動きでのフェイントをしてタイミング良く相手をかきわすようなアドバイスを行う。 ディフェンスではしっかり守って、チームの仲間が戻るまでの時間を稼ぐことが大事なことを印象づけるようにする。</p>	<p>ゲームの状況に応じて動き、パスやドリブル、シュートができる。 チームによる練習の時間を設定し、チームで話し合ったポジショニングやフォーメーションができるようにする。必要に応じて、相手プレーヤー役をつけて実践的な練習ができるようにはたらきかける。</p>
<p>5 最終評価セッション 1時間 基準を達成したかプレーの事実で発表、評価しあう。</p>	<p>それぞれの観点で、自分がどのレベルに到達したのかについて、ゲームでの動きや考えたことなど具体的事実を根拠として記述し、学習記録を作成する。 学習記録をもとに、グループ内で発表会を行う。聞く側は、発表者が出す以外の事実をあげて支持したり、反論したりする。より正確な学習成果の把握を第一とする。</p>	<p>学習を通しての具体的事実を振り返り、学習の成果や自分の成長を感じようとしている。 映像等の資料を用意する。</p>		